

ようこそ! 「はまなす」へ



KHJ親の会・北海道「はまなす」

2016年の新しい年が始まりました。新年早々に北朝鮮が核実験を行い、平和に対する不安要素が増えましたが、今年にはリオ五輪の年です。スポーツの祭典は平和でなければ実行できません。今年に限らず平和であり続けてほしいと願っているこの頃です。

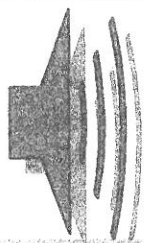
1月17日(日)にNPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク主催の学習会『ひきこもりにとって「就労」とは何か』が開催され、参加してきました。

息子は家から出られない状態ですので、就労には程遠いのですが、講師の宮武将大さん(30歳、香川県「生きづらサポートnode」代表)がどんなお話をするのか興味がありました。

宮武さんは小学生の頃、勉強・成績より友達と遊ぶのが楽しく、勉強をせかされるのがイヤで小学6年で不登校に。中学には行けるかなと思ったがやはり行けずにひきこもりに。親は学校に行くようにうるさく言っていたが、他の人に相談したりして家に居る生活を認めてくれた。そして、外出にも連れ出してくれたのでいろいろな経験もできた。で、20歳になったら働いてみようと考えていたのでアルバイトを始めた。アルバイトの面接では“何もしないで家にいた”と話したが特に聞かれる事はなかった。アルバイトをしてみて、ゲームより仕事の方が面白いと感じた。21歳から通信制の高校に入り、大学(福祉関係)進学し、卒業と同時に介護の職場に就職した。

このような経歴の宮武さんは大学時代から学生団体を立ち上げ、地域活動をしたり、「KHJ香川県オリーブの会」と関わるようになり、ひきこもりピアサポーターとして訪問活動を行い、2015年にひきこもりのみならず生きづらさを抱えた当事者団体「生きづらサポートnode」を立ち上げ活動を続けています。そんな宮武さんですが、社会人1年目で、社会・職場のルールの多さに心が病んだ経験を話してくれましたし、職場のトップが彼を理解してくれたので仕事を続ける事ができたし、今の仕事にやりがいも感じていると話されました。「就労」については、人生があって「仕事」がある、「就労」=ゴールではないので、その人の生き方で選択肢はたくさんある、家に居てやれる仕事とかネットでの仕事とか、理解者を増やす事でも、と、共感できるお話でした。

… 北郷 …



次日月例会のご案内

- ・日時：平成28年2月27日(土)午後1時30分～
- ・会場：札幌市ボランティア活動センター(4階)研修室B
- ・参加費：無料
- ・若者が集う部屋「すなはま」：活動室(4階)



☆2月以降の例会開催日→3月26日【札幌市社会福祉総合センター4階】：4月23日【同】

§「すなはま」の部屋 →3月26日【札幌市社会福祉総合センター4階】：4月23日【同】

◆「はまなす」からのお知らせ

◎“「はまなす」無料相談会&おしゃべりタイム”

日時：毎月第2土曜日 PM1:00～4:00 2月は13日(土)です。

場所：札幌市ボランティア活動センター 活動室(中央区大通西19丁目)

札幌市社会福祉総合センター4階

※ <http://hokkaidou-hamanasu.com/>